

## チャレンジ精神

師走に入り、世間もだいぶ慌ただしくなってきました。生徒のみなさんは、明日から始まる2学期末考査に向けて頑張っていることと思います。本校教員は、みなさんの成績向上のために、声をかけ学習状況を確認しながら、考査に向けたアドバイスをしています。

できないと諦めるのではなく、「どうすればできるようになるか」ポジティブに思考し、自分一人の力で解決が厳しい時は、先生に相談してください。自らが積極的に思考し行動することで、苦痛を伴うことがあるかも知れませんが、苦勞して頑張った先には、必ず成果が現れてきます。他人と比較することなく、自身の内面に蔓延るネガティブな自分と勝負してください。

10月30日(金)にトヨタ自動車副社長、通称「おやじ」河合満氏の講演がありました。

河合氏は、「挫折は挑戦の第一歩であり、挑戦することで自信につながる。チャレンジ精神を持つことが大事だ」とみなさんにエールを送ってくれました。講演後には、「仲間を信じ自分を信じ競争を楽しもう」(生徒昇降口に掲示)「情熱 信頼」(職員室前掲示)の2つの色紙をいただきました。

中学校を卒業後、すぐにトヨタ自動車に入社し、57年間トヨタ自動車を愛し続け、自分のできることを献身的に貫いてきた河合副社長が、仁高生の目の前で、直接「ものづくり」の大切さを語ってくれたことは、私たちにとって貴重な財産となりました。

現在のコロナ禍においても、社員一人ひとりが、「自分が何をしたらいいかを考えている」ことを紹介してくれました。地域貢献の一環として、技術者のプライドをかけ、培ったスキルを活用したマスクづくりや、「消毒大使」というネーミングの消毒スタンドの商品開発等、逆境においても、トヨタの社員はチームワークを基本にして、チャレンジを続け成果を出しています。「何事にも一生懸命に取り組み、反省して新たなチャレンジをする人間は、必ず夢を実現できる」と熱く語ってくれた姿が、今も目に焼きついています。

河合氏は、「おやじ」というニックネームがよく似合う風貌で、副社長の立場にもかかわらず、気さくで誰からも慕われ、社員を家族と考え親身になってくれる人だとよく分かりました。

また、「ものづくり」にとって大切なのは、製造した商品が世の中のために役立つという信念を持ち、使っている人の笑顔を想像しながら仕事に打ち込むことであると理解しました。

チーム一丸となって「ものづくり」を推進してきたトヨタ自動車の「ひとつづくり」の哲学や方法を参考にして、私たちも学校生活で勉強や部活動等に向かう姿勢や心意気を明確に示し、挑戦していきましょう。

コロナ禍の今こそ新たな気持ちで、一人ひとりが目の前にある壁に挑んでください。このチャレンジこそが、「おやじ」河合副社長の講演に立ち会った私たちの特権です。

- ★ **アイコンタクト (i con t act 2)** を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向きあいながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ!
- ★ **メモ** をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
- ★ **意識力** = 意思・意志 (瞬間) + 気力 (持続) です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
- ★ **GTH** は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
- ★ 「**自己有用感**」を高めてください。そのためにあなたは何に挑戦しますか? 自分が誰かの役にたつためには、**感謝**の心と**自己肯定感**を持つことが大切です!
- ★ **NPT** は仁賀保高校プログラミング思考の略称です。NPTを意識して、学びを活性化しましょう。プログラミングは、**Trial&Error**で進めましょう!